

日本国家の起源

発表者 石毛直道

出席者 梅棹 上山、飯沼、佐木、上田、岩田、中尾、藤岡、米山、和崎、谷、桑原、石井、石毛、松原

1. 弥生式時代の首長と族長

1.ge 弥生式時代が開始された頃にはすでに、北方的要素と南方の要素とをベシツクたものとして存在した。北方的とは、銅劍、銅鐙、そして多紐細文鏡、打製石くわなどをその主な指標とする。南方的とは石包丁、有段石斧、など石の指標とする。この南北的文化複合を湖熱文化とよみ揚子江流域より、この文化伝播とともなう稲作が導入された。この結果地域的に、生産力が増し、倉庫管理、農耕儀礼などがわかる首長が要請されるようになった。

Sas 倉庫管理を一村単位とするという、そんな大きな倉がある、たかどうのギモンだ。

1.ge スサノオノミコトと天照大神との争いがあるようにアマツツミ、ミコトキナとの争いの調停者が大事だ。

lwa 東南アジアでも同じ他人、知れ種子をまいて所有権侵害する事例がある。

1.ge 長官の2つまであることは同一体系内にある銅鐙の統一性から推測される、非常に大きな銅劍銅鐙の2つ。小林に於けるこの銅劍銅鐙がつかされ銅鐙のたまたま大和朝廷の成立のときだと考へる。

Sas 首長の2つは、前期中期には、共同体の首長なので大げなものは考へない方がよいという2つだ。戸次家は考へるべきだ。

Ume 日本古代はかたがた早く、程度が高、たの2はない。

Sas 日本は雙系的である。扱いは輸入したものだと考へた。日本の史家はあまりマルクス・エンゲルス説に染まりすぎている。

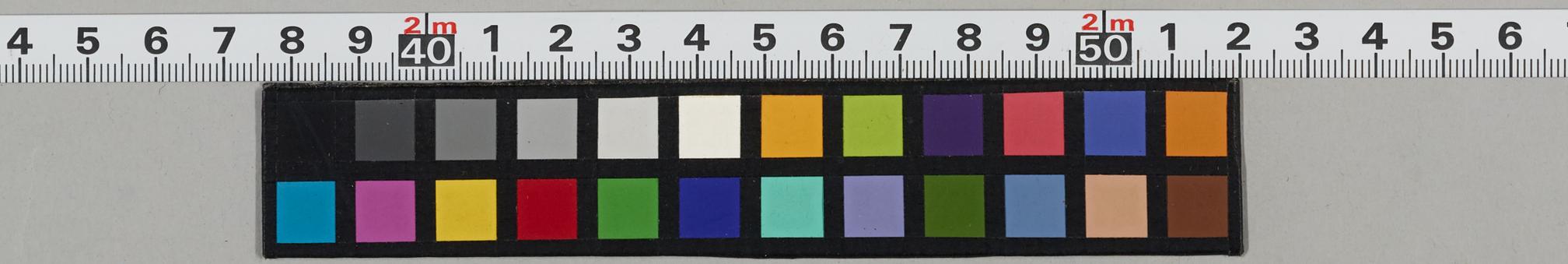
Ved これは日本の戦後史学の通らざるを乏しく、たやむをいふことだ、たのた。

Ume 日本古代史の2つは國史と民族学、人は一つの貢献をした。首長の問題に関連して、社会人類学の方から考へるべきだ、トライシよと思ふ。

* 弥生式時代の農業

Ish 石の道具で南蠻の地形跡はない。

Nak 板件 出土の米周崎君の(送) 2米たかオカホの可能性、ホルネオのタイプ(少) 2米 系統のオカホ



2. 古墳時代の朝廷の成立 (ヤマタイ国の方)

Ige. 尚題はミナミヤマタイ国にどこに設定するのがある。九州
説と大和説のうさ。現在の時真2は大和2はな1の2考2
る。古墳は北九州に4、大和に3(後半)にな、2出2くる。
小林行雄は、鏡の分布より、権力のあり方を追求した。同
鏡の分布状況を分析した結果、権力の分封の意味を鏡を
権力者の分配したと推測し、これより大塚山の墳後が大和
朝廷を想定した。そして黄金塚古墳の居住者を、大和の
首長に服する配布者だと考2た。

Ued. 北九州と大和に同じ文化の高さがあるという九州の方の高い
というところの存在する材料は証明できる。クニサキ紋土器
の技術は大和が高いもの。しかしそれが必ずしも政治権力の向
きにほつたものではないけれども。

Ume. 大塚山の天皇家の墓のなり根拠は?

lin. 天皇家の古墳に鏡の最大のものである。つまり、配布者、古墳に
多く集、2113のはなぜか。一番古、天皇家の古墳はどこの

Sas. 大和の天皇家の2比較的確実なのはハニハカ塚、崇仁のも古

Ued. 現在天皇家の墳墓発掘できなかったもの最大のカン2ある。

Yone. 大塚山の古墳の住者はトレーダー2あり、たの2はな1のみ。ホ
トツチのまうなものを2分布したとは考2えられな1か。

Nak. アハタニのばあ1鏡を泥の中に入れておいた。これは何の
権力のシンボル2か。あつり話2しかのめ、しく考2えられ
2113の2ないか。

Iwa. 宗教的シンボルとして銅劍、銅鉞、銅鐸、鏡はこれこれか
の意味をも、2113の2。

* 鏡シンボルの行方

Ige. 古墳時代前期に、畿内を中心として北九州、南東一部に2分布
王杖、アキ玉と合す。宗教的シンボル2あり、た。
中期になると装飾的になり、俗的権力のシンボル2な、た。
そして鏡は統一のシンボルとなり、祭祀権の統一2あり、た
ことを予2想2せ2る。リマソ征伐の記事2あるが、サカキに3
種。種を2かけて、恭順の意2を示す。

神武東征鏡のうさ

Nak. 神武東征鏡はどの程度信頼おけるのか。

Ume. あれは民族学的には、民族移動伝説のハタニを基礎に考2えて
はつたもので、その真~~実~~事実を反映し2113と考2えらるは
危険2。

3. 古代日本の農業のうさ

lin. 古墳時代の3区方に内連して、稲作の2幸港法から、中干法へ
2つ2る。帰化人の到来とともに中干法へ入2つ2

日本国家の起源 (その二)

'66. 3. 14.

発表者

石毛直道

出席者

今西, 梅棹, 上山, 飯沼, 上田,
藤岡, 米山, 和崎, 谷, 桑原,
石毛, 松原

I. 鉄原料と鉄技術-----朝鮮と日本との交流

- Yn., Um. 鉄錠は原料なのか? 原料をそのまま、墓へ埋めるのは何故か?
- In. 出雲地方に砂鉄があるのに何故朝鮮に鉄原料を求めるか?
- Ud. 日本の鉄原料が大々的に開発されるのは、ずっと後になる。
- Ig. 月の輪古墳から出土した鉄は、分析の結果、~~出雲~~地方の砂鉄をその原料として用いていることが分っている。時代は5C. 後半。
- In. 朝鮮で原料は砂鉄か? 山陽
- Ud. 鉄鉱石である。その鉱山は韓国より北にある。
- Um. 鉄は日本では何に使われたのか?
- Ig. 主として武器、農具、工具。
- In. 鉄技術は朝鮮には華北から、日本には朝鮮から入ったと考えてよいのか?
- Ig., Ud. そう考えてよい。
- Um. 日本では鍛冶王が出てこない。

II. 日本古代国家の形成

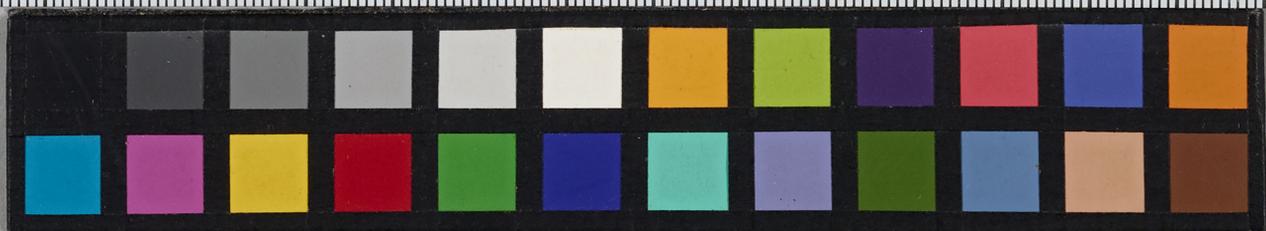
1) 朝鮮出兵と政治的・軍事的権力の確立

- Um. 司祭者的王が政治的・軍事的王に変化するとき、その factor として朝鮮出兵が重要な意味をもった。この二者の間には次元的な差があるのではないか?
- Ig. 古代国家の再編成の過程の中で、朝鮮出兵という軍事行動が出てくる。そのとき、鉄が大きな位置を占めてくる。
- Um. 鉄を求めて、朝鮮出兵をするときには、すでに政治的・軍事的権力は確立していた。石毛説とは逆になる。騎馬民族説が当てはまる。

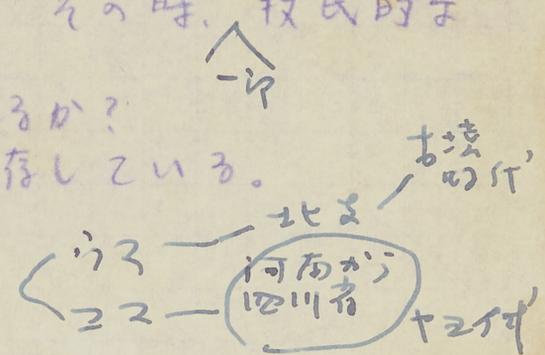
2) 騎馬民族説

江上法はやる
同化のline

- Ud. 騎馬民族説を石田説のように、弥生時代までひき上げたらどうか。



- Ig. 騎馬民族的を弥生時代の開始期までひき上げて考えると、色々な点で都合が良い。水田耕作が入った後は、南(江南地方)からのルートはとみされ、朝鮮から何波にもわたって文化の波が日本に押し寄せたと考える。
- Um. 岡説は、騎馬民族説を二段階に分ける。第一段階として、弥生以前に、焼畑農耕民が入ってくる。その時、牧民的な文化を伴ってきたと考える。
- Iw. 日本神話に、外来的な神が認められるか?
- Uy. 古事記、神代記には、異質的な神が併存している。
- Um, Ud. 岡説はそこをとりあつかった。



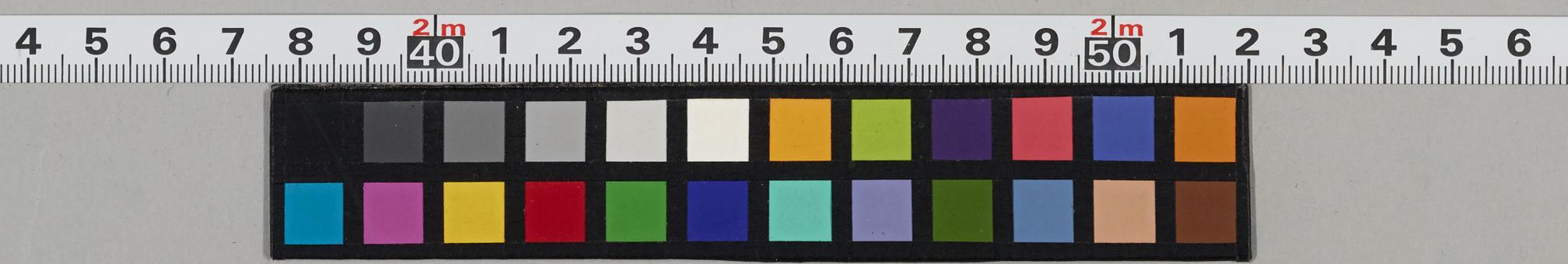
3) 史料としての日本書紀・古事記

- Mt. 梅沢勢三 ^{伊凡} "経記批判"説のように、古事記(A.D. 712)の方が、日本書紀(A.D. 720)より、実際には新しくつくられたということと言えるか?
- Ud. 梅沢説は強すぎる。日本書紀は、雄略天皇記以降、異伝を合理的に配置している。日本書紀の方が新しい。

4) 聖的権力と俗的権力——日本古代国家の場合

- Um. { ① 聖的権力——農耕——土着——女 } 重層
 { ② 俗的権力——遊牧——侵入——男 }
 という2つの、原理の異なる権力がある。日本の場合には、原理的に異なるこの二本の原理が一緒になった。
- Yn. 日本の土着文化の中に、聖と俗との2つの機能があり、天と考えたかどうか。
- Ud. 卑弥呼の場合、^美聖王としての女帝卑弥呼のうしろに、俗王としての男帝がいて、卑弥呼を補佐していたとも考えられる。魏志倭人伝の中にも、軍事的権力の存在をみせるところがある。
- Um. 女帝が存在するからといって、女が中心だと断定する必要はない。天皇家の王権は、マジカルよりも世俗的な側面が強い。
- Ud. 宮廷の機構は、外廷(存中)と内廷(宮中、内裏)とに分かれ、外廷は行政、内廷は祭祀をつかさどった。古の時代には、両者は連続していたが、後になると分離していく。
- Ig. 沖縄の例では、^{ガラス}

村レベル	女	ニガン	部落の祭祀をつかさどる。
小国家レベル	男	アジ	行政面をつかさどる。
	女	ノロ	祭祀をつかさどる。アジの姉妹が弱。
統一王朝レベル	男	国王	国政をつかさどる。
	女	キコノオキミ	祭祀。国王の姉妹になる。



III. 牧畜社会・農耕社会 比較論

1) 王権

Um. 王権を 農耕型 と 牧畜型 とに分けるのは、いままでの歴史の観念にはなかつたことである。その意味では重要。

In. 農耕型をさらに dry と wet とに分ける方がよい。

① dry 広範囲な despotism がでてくる。小地域では経済的に不安定。都市連合もでてくる。

② wet 小地域が各々経済的に安定。各小地域独立的。

Uy. dry, wet に分けることが王権にどのような違いか？

In. wet を日本では、自生的に中央集权的なものはでてこない。中央集权は dry を華北や、牧畜社会の中ででてくる idea である。

Ud. 牧畜社会は個人原理をもっているが、wet を農耕社会は、集団原理をもっているといえる。その意味で wet を地域は逆に統合しやすい。

支配されたい？

2) 封建制

In. 封建制は dry の支配をおしかえした時である。支配されたいところではでてこない。日本の場合は、idea のみが入ってきて、封建制が成立した。
(集权的)

Ud. 日本では、その成立する条件がすでにそなわっていた。

Um. 封建制は下地域ででてくる。

3) 個人主義 (人向中心の)

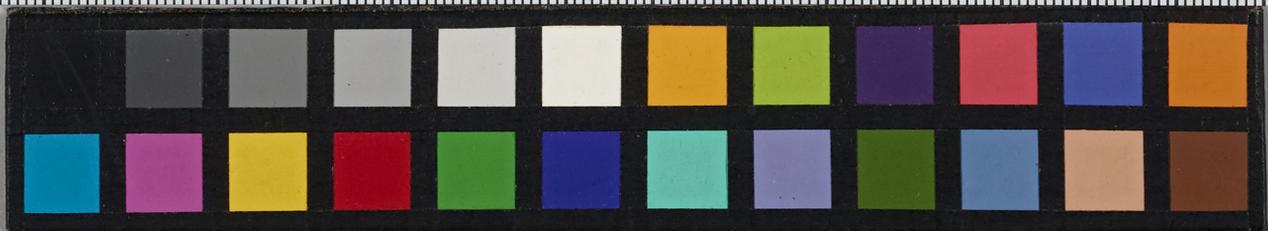
In. 牧畜社会の場合には、俗的王 がでてくる。その時、何故、その王権に個人の勇気などが関係してくるのか。牧畜自体に内在的なものがあるのか。

Um. ある。個人はつねに自然と対決し、子供のときから、一人で自然の変動に立ち向っている。それ故、個人主義 となり、個人の能力の開発の方向に向う。牧畜社会では、個人として大切にしているということが重んじられる。(川喜田説も同じ)

In. 集団として個人を重んじる伝統が、牧畜社会の中に存在しているのではないか？

4) 聖俗原理

Um. 牧畜文化は聖なるものの欠如ととらえた方がよい。それは realistic, practical なるものである。



In. 農耕社会の中では、聖と俗との対立観念はない。
 Uy. 農耕社会と牧畜社会を、聖俗統合原理と聖俗分離原理とい
 う異った原理をもつ社会として、とらえたらよい。

5) Holiness

Uy. 農耕社会、牧畜社会の中での holiness の違いは何か？
 In., Um. magical なものがあるなしではないか。
 Um. 牧畜民の天なる神は magical なものではない。

6) 犠牲

Uy. 牧畜民では犠牲は欠如しているか？
 Um. 牧畜民における天は超越的なものであるから、犠牲は欠ける。
 遊牧民と農耕民が接触した時に、犠牲の観念が生まれる。

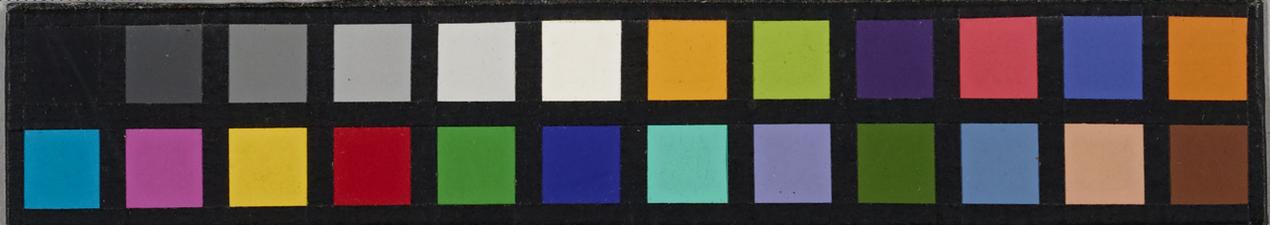
7) magical な力と国家形成

天文宗 (帝王宗)

In. magical なものがあるなしが、国家形成にどのような違いを、
 もたらすか
 Um. 農耕社会では、magical な力をもつ rain maker は、人民の代
 表としての性格があり、その行為に対して責任をもっている。
 しながって、magical な力を失うと殺されるということも
 起る。牧畜社会では、magical なものが、強いものが、
 王位につくといふところがみられる。軍事編成が早い。
 Ig. 西アジアでは、神殿の magical な力が、国家形成のとき強く
 働いている。
 Iw. 東南アジアでは、宗教の中核にあるのは、magical なもの
 ではなくて、祖先崇拜である。
 Ig. 神聖王がでてくる時にも、祖先崇拜が入っている。
 大宗教は、国家の統合原理として入ってくる。
 Um. 日本の神聖王は、仏教の影響によってでてくる。インドの
 ヒンズー教と対応、内在的な世俗原理を補強する役割を果
 してける。

8) 軍事編成

In. どうして牧民の場合には、軍事編成が早くできるのか？
 Yu. 遊牧社会では、年齢階梯制にもとづく集団が編成されやす
 いからではないか。



- Iw. その集団は、農耕社会ともなっていく。若者宿がそれで、それに属するものは戦士となる。
- Um. 遊牧社会では、国民皆兵というのが基本的である。内在的に、略奪の性格を持ち、家畜のとりあいはきつい。軍事編成が出来たとき、農耕社会に目を向ける。遊牧社会の一つの発展と見ることも出来る。
- Iw. Tualeg は、略奪が押し進められたとき、衰えた。
- In. 農耕社会の中で proper な軍事編成がなっていくか？
- Uy, Um. できてない。

9) 王位継承法

- Yn. 牧民には、系譜は存在するか？
- Um. tribe の系譜があるだけである。強いものが権力を握る。ウガール帝国では、王が死ぬと各王子間の闘争によって、その継承も決めた。遊牧社会では、継承法がうまくいかないので、闘争と崩壊のくり返しになる。
- Uy. 農耕民の場合には、家が王位継承の原理になるのか？
- Yn. 王位継承に ascribed と achieved の 2つの原理がある。

